

令和6年度第1回美祢市行政改革推進委員会 会議録(概要)

日 時 令和6年7月24日(水)14時00分～16時00分

場 所 市役所会議室301号

出席委員 石 龍譚委員、井上静夫委員、坂田和彦委員、宮崎義明委員、大石博司委員、
梨木教史委員、藤岡義彦委員、舟木祥太委員、水野久敬委員、和田奈保実委員、
小田綾子委員

事務局 デジタル推進部次長落合、デジタル推進課長竹内、デジタル推進課班長藤本

1 開会

2 市長挨拶

委員改選後の初めての会議となり、市長が開会の挨拶を行った。会長副会長選出後、本委員会は市長の諮問機関のため議事には加わず市長は退席。

3 委員紹介

4 会長副会長選出

委員互選により、会長に石 委員、副会長に舟木委員を選任。

5 議事

(1) 第三次美祢市行政改革の実施結果について

- ・ 資料に基づき事務局から説明
- ・ 委員からの質疑・意見

委員	第三次行政改革実施計画では、職員数を減らす目標設定としているが、業務量も増加し、限界を迎えているのではないかと職員数を減らしても業務が継続できるよう例えば、業務の外部委託等の取組の実施もしくは、検討をしているのか？
事務局	定員適正化計画を策定し、当初の行政改革実施計画よりも職員の減少幅は緩やかにしているところ。しかしながら、職員を減らす方針は変わっていないため、職員減を補えるよう業務のDXを進めるとともに、アウトソーシングについて積極的に検討していくこととしている。

(2) 第四次美祢市行政改革大綱について

- ・ 資料に基づき事務局から説明
- ・ 委員からの質疑及び意見 なし

(3) 公共施設の管理について

- ・ 資料に基づき事務局から説明
- ・ 委員からの質疑・意見なし

(4) 美祢市DX推進計画について

- ・ 資料に基づき事務局から説明
- ・ 委員からの質疑・意見

委員	DX推進員を各課に配置しているが、設置目的のとおり機能しているのか？また、人選はどのように行っているのか？
----	---

事務局	DX推進委員は所属長が指名し市長が任命することになっている。推進員に役職等の制限はないが、適正のある比較的若い職員が任命されている。 また、DX推進員対しては、毎年充実した研修を実施しており、研修で得た知識、スキルを活用し、所属における業務改善に取り組んでいるところである。
-----	--

3 その他

事務局から本市の財政状況の説明として、令和4年度決算における健全化判断比率の各指標について委員に対し説明を行った。

・会議全般を通じて委員からの質疑・意見

委員	行政改革は「行財政改革」として取組を進めるべきであり、このたび、財政状況の説明があったのは良かった。＜意見＞
委員	行政の行う取組について、自己満足になってはいけないと考える。市民目線での評価できる仕組みが必要ではないか。
事務局	行革の取組は、市民にはわかりづらい面もあると考えるが、「公共サービスの向上」も行政改革の取り組みと考えている。この部分については、市民に効果を実感いただけるものと考えている。